

成田市インターネット市政モニター アンケート集計・分析結果（第11回）

第11回のテーマは

「男女共同参画に関するアンケート」でした。

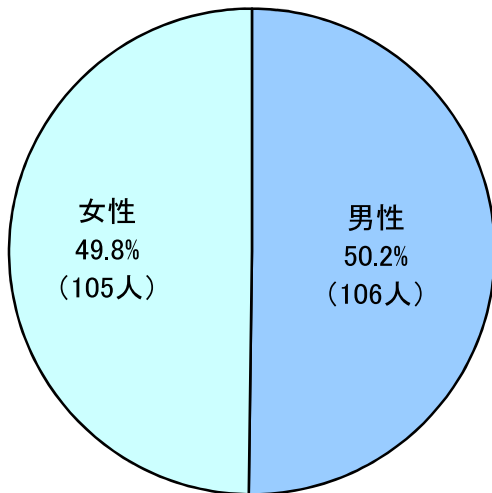
登録者数：281人

実施期間：平成26年11月12日（水）～11月21日（金）

回答者数（回答率）：211人（75.1%）

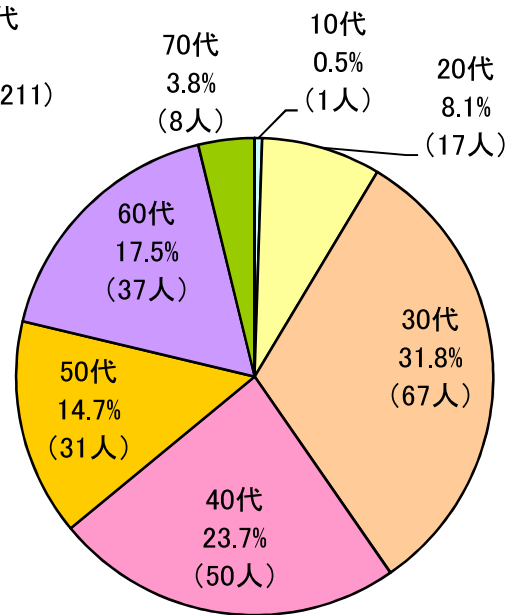
性別

(n=211)



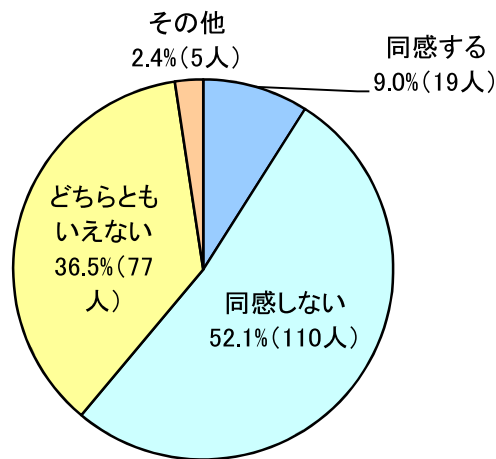
年代

(n=211)



[Q1]「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。(単一選択)

(n=211)



○平成 22 年に実施した結果と比較すると、「同感する」が 3.5%減少し、「同感しない」が 11.5%増加しています。仕事や家庭に対する意識は変わりつつあります。

参考：成田市男女共同参画社会に関する市民意識調査（平成 22 年 5 月実施）

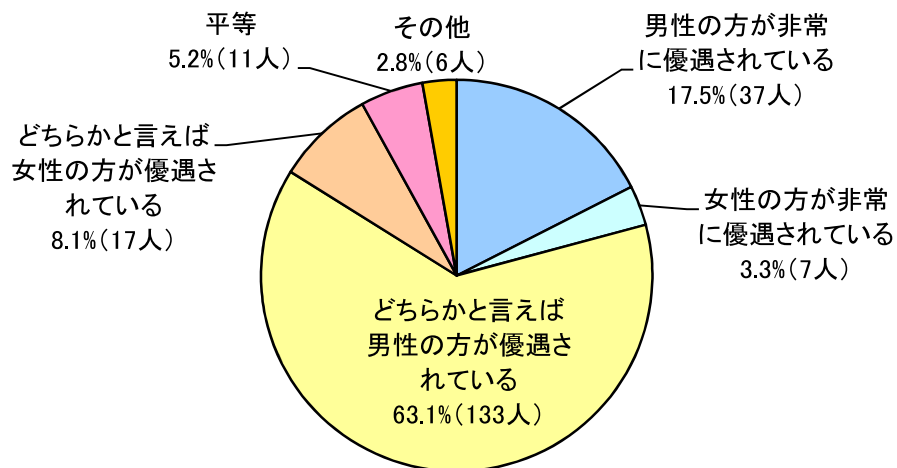
<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/kikaku/std0035.html>

・「その他」として寄せられた意見は次のとおりです。

小さい子供がいる場合は同感できる／性別に関係なく自由に選べる環境が整うことが一番いいと思う／生計が成り立てばこのようであってもよいと思う／性別にこだわらず、個人の適性によると思う／性別の違いがあるのに、全て同じ訳にはいかない

[Q2]社会全体で見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。(単一選択)

(n=211)

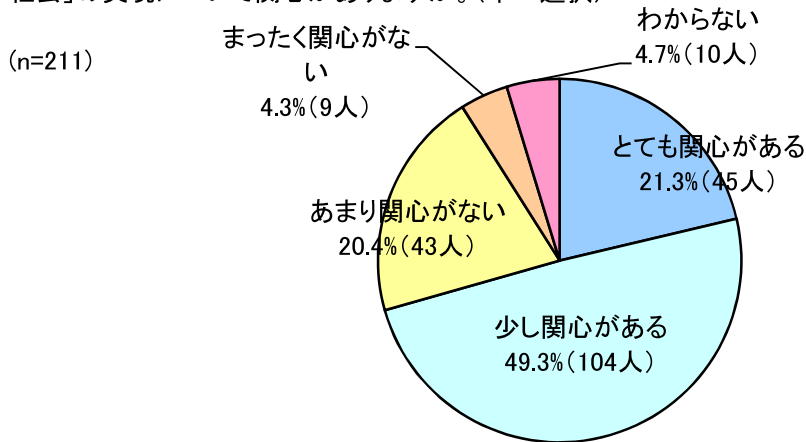


○「男性の方が非常に優遇されている」17.5%、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」63.1%と、8割以上の回答が男性の優位を感じています。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

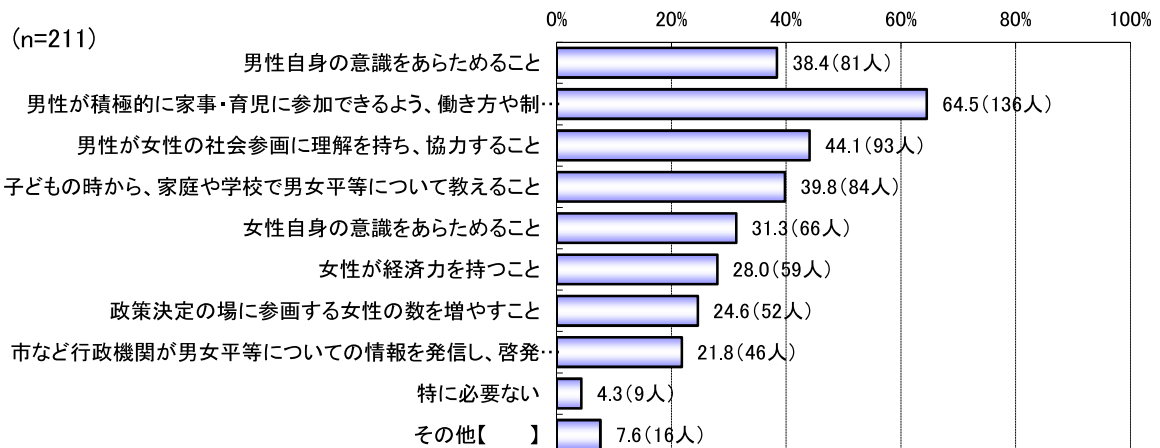
夫婦、兄弟姉妹、両親などその家庭でないと分からない／とてもバランスが悪い。どちらとも言えない／責任や能力など、見方による／その場面及び活動によると思う

[Q3]男女が互いの人権を尊重し、社会の対等なパートナーとして、自分の意志で社会のあらゆる活動に参加することができ、責任も分かち合う「男女共同参画社会」の実現について関心がありますか。(単一選択)



○「とても関心がある」21.3%、「少し関心がある」49.3%と、7割が男女共同参画社会の実現に関心をもっていることがわかりました。

[Q4]男女平等な社会にするために、今後どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択)



○「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、働き方や制度を見直すこと」を64.5%が必要だと思っています。次いで「男性が女性の社会参画に理解を持ち、協力すること」が44.1と、具体的な行動が必要と感じられています。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

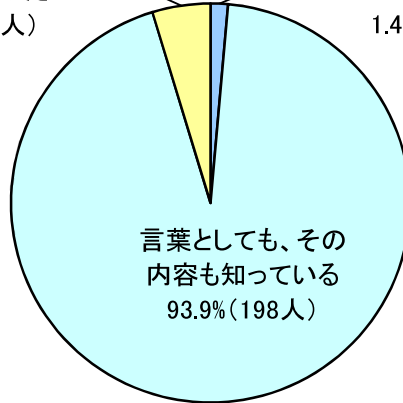
平等とは何か、男女考え方が違うと思うので、それぞれの意識確認の調査から行うべきだと思う／男女の性の違い、能力の違い、役割の違いを知り、お互い尊重できることが大切である／勤務先に預ける設備を設置してもらったり、預ける施設の増加／女性限定、女性のみなどの優待意識／国が育児に対してきちんとサポートすること／実際に現場で働く色々な職種の男女に話を沢山聞く／男性の育児休暇取得など取りやすい環境整備／平等の意義を明確にする／生物学的な観点でも男女は決して平等ではない。又、男女平等にする必要も無い。そもそも男性と女性では権利と能力が異なるもの／有給休暇が自由に2回(1か月)とれるようにする／性別にこだわらず、単にその個人の能力による人事評価制度を築く／男女ともに配慮と寛容の能力は必要／男女相互の特性を理解しうる教育の推進

[Q5]DVについて知っていますか。(単一選択)

(n=211)

言葉としては知っ
ているが、内容は
知らなかった
4.7%(10人)

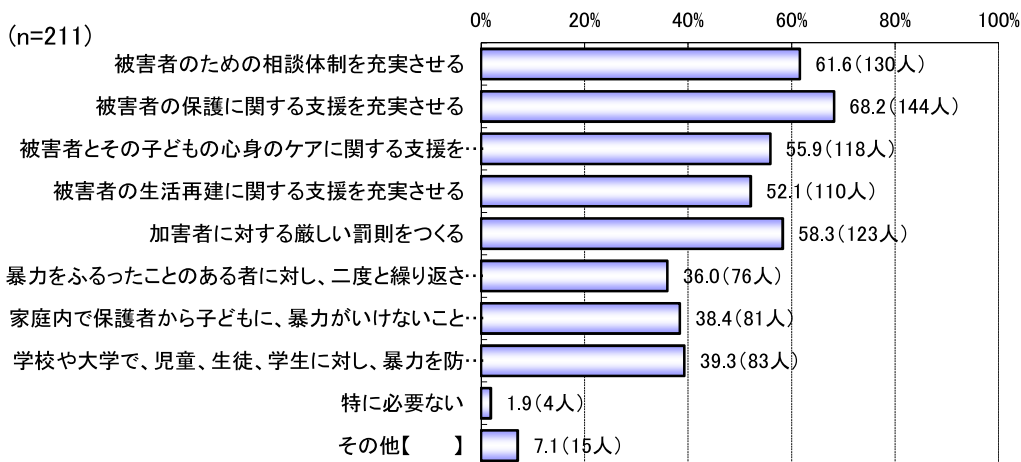
言葉としても、その
内容も知らなかつ
た
1.4%(3人)



○DVについては、9割以上が言葉も内容も知っていることがわかりました。関心の高さがうかがわれます。

[Q6]DVの防止や対策のためにどのようなことが必要だと思いますか。(複数選択)

(n=211)

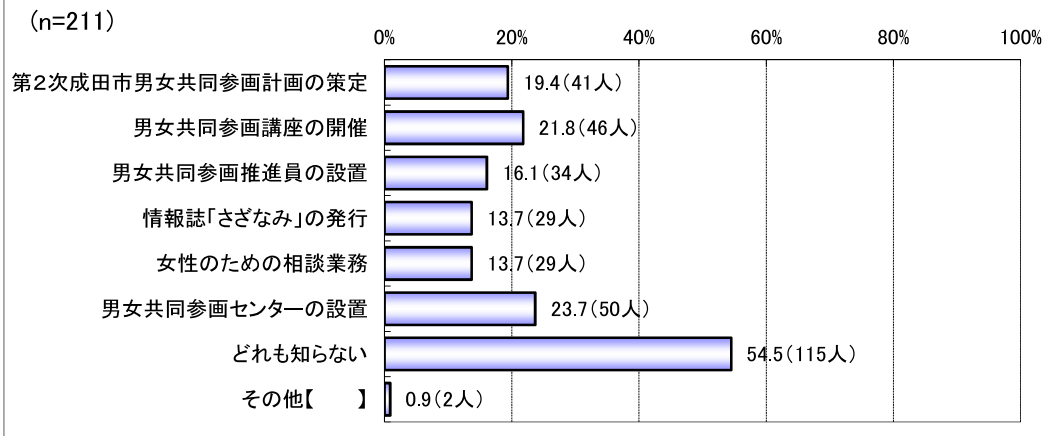


○DVの防止や対策のために、被害者の保護に関する支援や相談体制の充実を望むものが多くありました。また、6割弱は加害者に対する厳罰化を必要と考えています。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

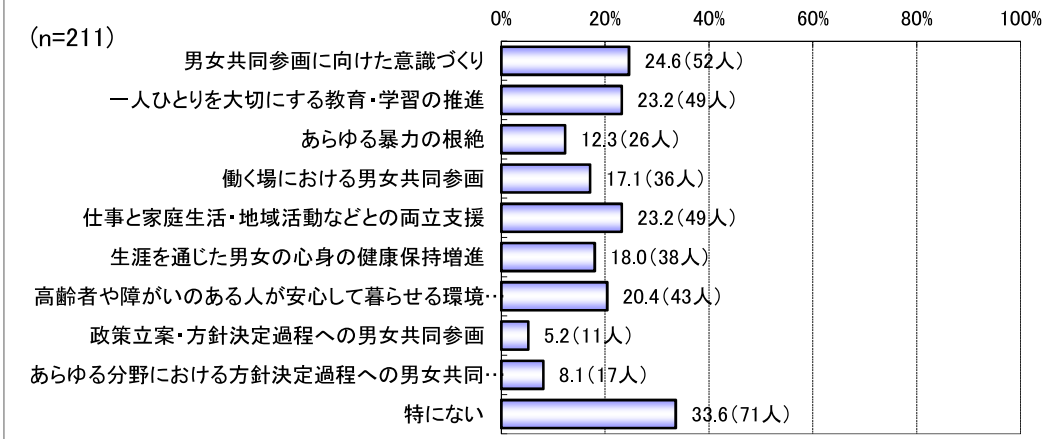
一言で何とかしようというのは難しい問題だと思う。行政が、しっかりした対応を望むのであれば、マニュアルのような対応では誰も救われない／加害者である男性や女性が未熟なため起こると認識している。成熟した大人なら子供が理解するようにその力を使うはず／暴力行為を臆と考えている大人、特に教師や教員養成課程の教員の再教育が必須／暴力ダメという教育ではなく、コミュニケーションについての教育を行う／根本的には道徳教育から見直す必要があるかと思う／犯罪に近い物は積極的に家裁や警察が動くべき／DVは一種の病気だと思う、治療しての対策が必要／隣、近所の連携を、一層充実させる施策が必要／世間体を知らずに生きていける環境の見直し／相談者の精神状態を冷静に判断し、継続的に対応

[Q7]市が男女共同参画を進めるために行っている取組について、次のうちどれを知っていますか。(複数選択)



○市が行っている取組の認知度は低く、「どれも知らない」が半数以上を占めています。各種取組の周知に工夫が必要です。

[Q8]「第2次成田市男女共同参画計画」には以下の選択肢にある、9つの主要課題があります。この課題解決に向け、特に進んでいると思う主要課題を次の中から3つ以内で選んでください。



○「特にない」が最も多くなっています。また、進んでいない主要課題としては「政策立案・方針決定過程への男女共同参画」や「あらゆる分野における方針決定過程への男女共同参画の推進」があげられます。

[Q9]その他、男女共同参画に関するご意見・ご希望等をお書きください。(自由記述)

- ・反対に圧倒的に女性が多い職場には男性が採用されると良いと思いますが給料が低いので男性が募らないことは如何と思います
- ・とても細かい事ですが…。親が共働きの場合、子供が発熱、臨時休校等で学校を休む場合、出勤のやりくりをするのは決まって母親。男女平等と言う意識を、社会はもっと強く強く持ってほしいと思います
- ・男女共同参画はこれからも推進して行ってほしい。昔よりは男女平等になってはいるが、これからも男女差別のない社会を目指してほしい
- ・女性には女性にしか経験できないことがたくさんあります。出産や授乳、生理などです。子供を授かったら仕事量を減らしたりしないと体に負担がかかるし、生理痛がひどくて働きたくても痛みがひどくて動けない場合だってあります。そういう時でも働き続けられる職場作りや、男性側の理解があると、女性も働きやすくなると思っています。小さい子供を見てくれる場所や、介護が必要な親を預けられる場所を整備することが、女性の社会進出に繋がっていくのだと思います
- ・国会や地方議会で女性を蔑視する発言が問題になりましたが、やはり根本的な考えを改める意識がないと思われる。特に高齢者は、DVに関してはこんな世の中なので見て見ぬ振りをする人が多いが、やはり近所の人が少しでもおかしい事があれば連絡できる所、そして被害者達を保護できる暖かい場所作り、できればサロンのような場所で何かあれば気軽に話を聞いてもらえる場所があればと思います。スタッフはボランティアでいいのですから
- ・センターがポンベルタに出来たのは知っているが、具体的にセンターで市民が何を出来るのかが良くわからない
- ・男女共同参画推進の必要性を前提として敢えて申します。一部に「男女が全ての分野で全く同じ様に扱われるべき」という考え方には疑問を感じています。男女は、身体的にも精神的にも生物学的な差が有り、これを無視した施策や活動は必ず齟齬をきたします。例えば、乳幼児期の養育においては男は圧倒的に不利ですし、強い瞬発力を要する力仕事においては一般的には女が不利でしょう。それを正しく認識した上で、夫々の特質に押し込めるのではなく特徴を生かし、必要に応じて社会全体として支援する仕組みが大切であり、個人の意思によって自らの道を切り開く事の出来る社会こそが男女共同参画社会だと考えています
- ・男女はお互い、体格・体形・嗜好・生理や能力が違うのだから、いつも同じ役割を果たす必要はないと考える。ただ、男女の違いや特徴を正しく認識してお互いに尊重し合う社会、いたわりのある社会を実現するのが良いと感じています
- ・お互いに感謝の心を持ち、助け合うようになることを目指して欲しいと思います
- ・これから子供をもうけたり、これから成田市へ家庭を持ち本腰を入れ住む人への支援が明確でなくホームページも知っている人だけ支援という感じ。支援があるのに使わせない姿勢では成田市に住む利点が無く不安ばかり
- ・学生からすると、男性優遇などということは全くなく、女性の方が優遇されている感がある。例えば外食チェーンの女性限定メニューやコンビニ、百貨店などの女性中心目線の商品など
- ・女性の社会的地位を優遇することが主目的となるのではなく、平等に働ける環境整備を行うべきであると考えます
- ・様々な仕事を女性の特性が生かされるもの、男性の特性が生かされるもの、性別に関係なく、その人のポテンシャルと行動のみが大切であるものに区分し、的確な仕事に就業できる仕組み・指導体制を作るべきである。学校の就職担当やハローワークの職員たちの、職業の実態を理解している人は殆どいないのが実態。これは、小生の意見であるとともに、職業安定所長のOBの方々からの聴取事項です。実体験からの意見です

- ・男女共同参画社会の推進は重要だが、性差への配慮を欠いた施策も少なからず存在する。これの推進派却って不都合な社会事象を現出させることにも繋がる。そのことから、これらへの十分な配慮があつてしかるべきだと思う
- ・市が、男女共同参画について、何か具体的に取り組んでいるということを知りませんでした。広く知られているのでしょうか。市民一人一人にまで、その課題を知らしめることが、まず必要なのではと思います
- ・全く見えない。何をしているのか、わからない
- ・日本は、まだまだ男性の方が暮らしやすい環境のように思われます。女性の自立支援・子育ての充実があつてこそ、人々が生きやすい環境が整うような気がします。DVは女性の人生を変えてしまう。DVの体験者のケアをする制度(話を聞いてくれる。アドバイスをくれる)それだけで心は救われると思います。ぜひとも救いの手を差し伸べてあげてください。宜しくお願い致します
- ・女性には「妊娠」、「出産」、「育児(男性も参加できるが)」などのハンデがある事は間違いないが、この事を前提とし、ハンデとしない社会の仕組み作りが大切だと思う
- ・成田市は他の市町村に先駆けるような政策がない。特に古い考え方の老人議員が多い
- ・環境整備が大事だと思いますが簡単にはできないとの懸念もあります
- ・女性の社会進出を図るためには、子育て世代が活躍しやすい仕組み作りが必要とされる
- ・女性が参加できるセミナーや場所を多く設けてほしい
- ・女性にも甘えがあるのでは
- ・男性が女性よりもできること、女性が男性よりも出来ること。個々の長所を生かし、なおかつ尊重しあえたらいいと思います
- ・男女共同参画には反対です。特別に何かするのではなく個々が自分の役割や出来る事を自覚して生きていけば全く必要ないと考えます
- ・子育てが終わった今年になるとあまり深く考えなくなりましたが、生涯に渡って意識をもち続けることが思います。やはり子供の時から知識を持つ事が大切だと思います
- ・地球上では人間も生物体です、性別欠陥を互いに補完しつつ今日まで永い人類の歴史が造られてきているのではないのでしょうか「男女共同参画」と大上段にかまえられて言われると正直たじろぎます
- ・仕事でも家庭でも男女が全く同じことを行うとすることは、無理があると考えます。男だから、女だからということを前提とした評価ではなく、あくまで成果に対しての評価を徹底すること、また、それぞれにおける役割分担との視点が必要
- ・差別問題が今はきになる。ヘイトスピーチは今、規制しないと、強いものが発言力の強いほうが、弱いものを集団でいじめている。DV もいじめも差別や性格の貧しさから生まれると思う。以前企画委員を務めたことがあるが、当時は女性ばかりだったが、現委員は、男性も多く良いことだと思う。定年されたり自由業の方がユニークな発想で、男女問わず平等な安全な町にしてほしい
- ・女性に対し急に責任のあることを押しつけるのは問題があると思います。家庭に入りたい人もいると思うし、管理職になるにしてもきちんと教育なり経験を積める機会をきちんと作ってあげるべきだと思います。女性の意見をたくさん聞いてから政策を決めるべきではと思っています。今の政策は男性目線の数値だけの目標に感じています
- ・市とは関係ありませんが、県のDVのCMを聞いていると、男性が女性に暴力を振るうという前提になっています。逆もありえるのに、行政側にも固定観念があるのでは？
- ・根本的な社会の仕組みが変わらない限り共同参画は成しえないと思う。男性ももっと積極的に女性を受け入れる意識を持たなければいけないと思う。女性も共同参画を訴えるならならば、都合のいい時だけ女性を武器にし、レ

ディースデイなどの女性優遇もセクハラだと言うべきだし、男性側にも問題があるのだろうが、家庭の事情を理由にして仕事を休むなどしては、絶対に共同参画など出来るわけがない。女性も意識改革が必要だと思う

- ・男女共同参画に関しては、市ももっと積極的に動くべきだと思う
- ・日本を代表する国際都市でもある成田市こそ、これからますます推進してほしい政策だと思っています
- ・ボンベルタの別館に最近、センターが出来たのを知っているくらいで実際の活動内容は知りません
- ・今まで考えたこともなかったのですがこれからの時代は必要な事だと思いました
- ・体が震えるほど壮絶なDVを受けている人々に対して、現実からの退避方法等を正しく伝えるための啓蒙活動をして欲しい。例えば、学校で～こんなときはどうしたらいいのか？を、DVD等を使って、生徒に伝えたり、安心して相談できる場があることを、困っている親に正しく伝えたりして欲しい
- ・今回のアンケートで初めて[男女共同参画]という言葉を知りました。今後、内容をもっと良くしりたいと思いました
- ・私自身、マタハラが世に知れ渡る前にマタハラで仕事を辞めています。いまだにどこにも言えず、わからず、悩んでいる人が他にもまだまだいると思うので、相談場所や相談しやすい環境を作ったり、会社側への啓発等も行っていただければ、と思います
- ・託児所など、仕事に子供を預かってくれる施設を充実させることが重要だと思います
- ・DV等個々のケース事情の適切な把握と個々の対策が必要
- ・男女共同参画 という言葉に とても違和感を感じます。一般社会(除く企業)においては 今の世の中 男女間での差別は私自身 全く感じない。ただ 国から与えられた お題目を唱えているだけなのでは という 思いです。呼び方を変えてはいかがでしょうか
- ・男女共同になると、少子化が進む。シンプルに男性の役割、女性の役割を分けないと中間的な性別の人が増えて行く気がする
- ・どんなことをすれば、社会の意識が高まるのか、よくわからない
- ・「男女共同参画」を進めるためには、社会のしくみ、人々の意識など変えなければならないことが多々あり、非常に難しい問題であると思う。また、人間の幸せとはなにかということにもつながる大きな問題であると思う
- ・大人向けの施設など、ハード面を重視するのではなく、子供向けのソフト面の対策(遊びや授業、生活の中での意識付け、考え方など?)を重視するとよいのではないだろうか。施設の充実を図るにしても、子供向け(特に小中学生の集まれるような)の施設があるといいのではないだろうか
- ・男性も育児に積極的に関与し、女性が職場で思い切って働ける環境を整備する。祖父母が家庭内で、役割分担を担い、家族が一体となる社会に変革することが重要となる。ワークシェアが必要
- ・今は、女性の参画が遅れている実情もあり、男女同機会ではなく女性優遇の状態であり、企業においても目標値が示され「数合わせ」のため、「能力」ではなく「女性だから」で管理職、役員になっており、なった女性も苦勞しているし、その女性よりよっぽど優秀な男性は「男性だから」で明らかに劣る女性の部下になりモチベーションを落としている状況も見受けられる。もちろん同機会の中同じチャンスを競争するべきで、今までの女性の社内教育の現状では計画的に教育をされてきていないことから女性には不利でかつ荷がおもい状況となっている、もう少し計画的に人材育成を行うなどもう少し時間をかけた上で共同参画などを行えば本当の平等の能力競争ができると思う
- ・良い方針、取り組みだと思いますが、通勤時間が長く在宅時間が短いこともあり、地元の活動に気付きにくくなっています。駅、バス停、商店、スーパー、金融機関などにポスターなどを使って「気付き」の機会を作ってみることで、市民の意識が高まるキッカケになるように思います
- ・形だけの共同参画は以前より行われているが、実効性・効果があまり目立った形になっていないのが不思議だ。男性と女性ではやはりなにか違うものがあるからなのだろうか

- ・男の人が育児に参加的になっていく雰囲気をもっと高めていけば、女性も自由に社会に出ていけると思う。どうしても、家庭や子供の事は、女任せで、自分だけ一人で飲みに行ったり遊びに行ったりするから。女として家庭のことが社会を見る目に影響してしまう
- ・男女共同参画の課題は、①女性の自立した生活を構築する為の自覚と責任、②男性の家事と育児への自覚と責任、がそれぞれ欠けていることだと思います。自活して時には夫と子供も養育する気持ちを持てる女性と、家事を我が事として、育児も対等にこなせる男性であることが理想ではないでしょうか
- ・男女共同参画がどんどん進むことを願っています
- ・男性、特に高齢者でポストにしがみついている人材を削減し、若い人や女性に門戸を開くべきだ
- ・自分もそうだが、言葉では良く聞かすが内容は・・・の方々が多数いると思います。市政として出来る限りの事をやって頂ければと思います
- ・賃金差やDVなどに目が行きがちだが平等とは何かを先ず意識作りする事が急務
- ・高校を卒業するまで性差による差別は過去のものと思っていましたが、大学に入り、いろいろな場面でまだそれが根強く社会に存在することを思い知らされました。小学校から大学まで教職者が与える影響は大きいと思います。男女共同参画に向けて各種制度の整備は大事ですが、まずは人の意識を変えないと、制度の不備に気付かないと思います。制度の不備に気付ける人材を育てる為にも、教職者の意識改革が重要かと思えます
- ・あまり男女共同参画計画が周知していない様な感じがします
- ・現在老若男女すべての人間が何らかのストレスを抱えていると思います。その社会の中で、男女平等であるという事を訴えていくと、必ず壁にぶつかるように思います。私は心身の健康保持増進のために、各医療機関に気軽にカウンセリングを受けられる相談室が欲しいです
- ・何をどのようにして行っているのか分かりません
- ・男女共同参画センターについての説明が不足している
- ・第三者から見れば加害者、被害者双方に責任がある場合が多く、問題を解決したと判断しても双方の「しこり」は永続する。人権教育をあらゆる機会(投票日など)で徹底すべきである

～まとめ～

○男女共同参画に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今回のアンケート結果からは、多くの方が男女共同参画社会の実現について関心をもち、単に女性の問題として捉えるのではなく、男女双方の問題として意識していることが理解できました。また、男性の優位性を感じている割合は平成22年より多くなり、職場・家庭生活、地域での生活、暴力など様々な場面でそれぞれの問題が発生しています。

今後も、個人の意識改革にむけた啓発や各種取組みの周知を図りながら、ワーク・ライフ・バランスの推進や政策方針決定過程への女性の参画が図れるよう諸施策を進めてまいります。

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。皆さんのご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

今後とも、成田市インターネット市政モニターへのご協力をお願いします。